

e-learning 推進機構支援

—熊本大学 WEB システム(CMS)構築—

谷口勝紀^{A)}、上田誠^{B)}、青木敏弘^{A)}、仲間裕貴^{B)}

^{A)}電気情報技術系 ^{B)}環境建築技術系

1 はじめに

現熊大 WEB では、コンテンツ作成や修正において、職員が WEB 上で記事を作成することができる CMS(コンテンツマネジメントシステム)が導入されている。現在のシステムは、コアラ社製のシステムを導入しているが、このシステムでは広報 U 又は部局コンテンツ責任者による決済を WEB 上で行うことができず、間違った情報の掲載や、記事責任者の把握が困難である。e-learning 推進機構を中心とした漢発グループではこのような問題点の解決や、新たな業務フローの確立を可能にするために、平成 23 年度末での公開を目的に導入開発の支援を行ったのでここに報告をおこなう。

2 支援内容

開発グループのメンバーは、e-learning 推進機構のメンバーの他、情報基盤センター職員、広報ユニット、情報企画ユニット、人事ユニット等の支援の基に活動しており、我々は主にシステムや導入における技術支援を担当した。

本年度行った支援業務については、主に以下に挙げるものである。

- 1) 業務ワークフロー決定支援
- 2) Plone 更新ツール検討支援

本システムでは、各ユーザ毎にコンテンツの追加/編集や、そのコンテンツに発行の許可を行う承認者権限を与える事が可能であり、各部局で管理可能なコンテンツを部局内の決済で更新可能な業務フローやツールを利用するのが適当であるか、広報 U 等の担当者と共に検討を行った。

- 3) WEB アクセラレータ(Vanish)の導入・設定支援

システム求められる要求のうち、パフォーマンスは重要な部分を占める。例えば合格発表時などにおいては瞬間的かつ膨大なアクセスを処理しなければならない。そこで Web サーバとは別に Web アクセラレータとしての端末を設置し、ソフトウェアの導入と Web サイトのレスポンスの高速化設定や、ユーザーのアクセスの振り分け、Web サーバ死活監視導入を行った。

- 4) LDAP 導入支援

新システムにおいては、ユーザ毎にコンテンツの編集/承認権限の管理が可能である事が重要なセールスポイントとなっている。この機能を実現する為に、部局毎の人事配置を基とした認証用の権限情報管理データベースが必要となる。今回はその設計と導入検証と実システムへの導入を行った。

- 5) セキュリティ監査(OpenVAS 導入検証)支援

システムの公開を行う上で、セキュリティに対する監査は必要不可欠な事項である。今回は OpenVAS システムを利用し、様々なウイルス/クラッカー攻撃を OpenVAS に行わせる事で、システム監査を行い各種脆弱性の有無を検証した。

- 6) 利用者向け講習会支援

3 まとめ

短いスパンでのシステム構築であったが、Vanish や LDAP 等の基盤サービス導入など高い技術支援を行う事ができたと自負している。 参考 URL : <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>